

市立釧路病院

乳房再建外来 来月開設

釧根初 情報提供と選択肢提案

市立釧路総合病院（森田研院長）は9月から、新たに「乳房再建外来」を開設する。同外来の設置は釧路、根室管内で初めて。乳がんの治療にまつわる不安や疑問を取り除き、個々の希望に応じた選択をサポートする。

「乳房再建外来」を新設する市立釧路総合病院



成外科が連携し、初回の相談から手術、アフターケアまで一貫したサポート体制と乳がん認定看護師ら他職種チームで包括的ケアを進める。

担当は、外科で同学会乳腺専門・指導医の飯村泰昭副院長と日本形成外科学会専門医の小田陽一郎形成外科部長。飯村副院長は「再建という手段を知ってもらい、不安なく治療に臨めるよう努めたい」と話す。森田院長は「患者の自己決定権の尊重は医療の基本原則。納得して治療方針を決定できる環境を整えるとともに、道内医療の均てん化に取り組むことで質の高い医療を提供していく」とコメントしている。

件以上の乳がん患者を扱い、17年からは人工乳房による再建手術を導入。24年度は3例の再建手術を行った。今回、同学会の提言を受け、より包括的な情報提供と選択肢の拡充が必要との認識から

日本乳癌学会が昨年11月に発表した提言によると、乳がん術後の乳房再建は2006年から段階的に保険適用が拡大しているものの、22年の再建率は全摘術の13%にとどまり、他国との差が大きく、国内でも地域差があると指摘。道内では釧路と札幌、函館、旭川の4医療圏のみとなっている。同病院では年間100

同外来は毎週月曜診療。せは同病院患者サポートセンター0154(41) 6121へ。(河辺由紀子)